

研究テーマ ● 具象絵画のしくみ

教育学部・美術教育・絵画

教授 桶田 洋明

<http://okeda.html.xdomain.jp/>

研究の背景および目的

具象絵画は美術分野において古くから存在します。近年の多種多様な表現方法が見られる現代アートにおいても、具象的表現を用いた絵画を頻繁に目にすることができます。

しかしながら、学校教育を筆頭に、具象絵画を表現するための「描き方」についてはあまり教えていないのが現状です。具象絵画の「描き方」を理論的に学ぶことで、絵画制作に役立つだけでなく、絵画を鑑賞する際の一助となることを目指します。

■ おもな研究内容

造形要素の分析

絵画の主な造形要素

- ・形体
- ・構図
- ・色彩
- ・描画法
- ・テーマ

研究している主な描画材

- ・油彩
- ・テンペラ
- ・アクリル
- ・水彩

絵画描画法の研究

- ・各描画材の特質
- ・空間表現と技法
- ・効果的な色彩表現法

絵画指導法の研究

- ・効果的な空間表現法
- ・クロッキーによる短時間指導法

絵画制作の進化

絵画鑑賞の充実

絵画教育の充実

期待される効果・応用分野

絵画制作者にとっては、表現技法を中心とした絵画の造形要素を学ぶことで劇的な進歩が期待できると思われます。

特に油彩・アクリル・テンペラ・水彩等における描画材の特徴とその技法を知ることは、制作者はもちろん、鑑賞の立場からも、古代から現代に至る絵画技法と社会情勢との関係を深く理解することにつながり、今後の作品鑑賞に大きく役立つことでしょう。

■ 共同研究・特許などアピールポイント

●油彩・テンペラ・アクリル絵の具を使った描画法について論文や講演で発表し、また自身の作品制作によって実証しています。

●クロッキーの効果的指導法について研究し、授業実践を通して複数の論文で公表しています。

🗨️ コーディネーターから一言

具象絵画の「描き方」を理論的に学び、制作者の視点から見た絵画のしくみを知ることで、絵画制作・鑑賞をする際、より深い理解と発見ができます。学校教育だけでなく、趣味講座等での講演や指導依頼が可能です。

研究分野	絵画制作学、絵画技法、絵画教育
キーワード	技法、絵画、油彩、アクリル、テンペラ